

Title	AICカンファレンス2024 Winter Edition実行委員長挨拶
Sub Title	
Author	矢向, 高弘(Yakō, Takahiro)
Publisher	慶應義塾大学AI・高度プログラミングコンソーシアム
Publication year	2024
Jtitle	AICカンファレンスWinter Edition予稿集 (2024.) ,p.2- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	会議名：AICカンファレンス2024 Winter Edition 開催地：慶應義塾大学協生館AICラウンジ 日時：2024年12月7日
Genre	Conference Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO11003001-20241207-0002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

AIC カンファレンス 2024 Winter Edition

実行委員長挨拶

私たちが AI・高度プログラミングコンソーシアム(AIC)を立ち上げてから5年が経ちました。構想段階は8年前に遡ります。人工知能(Artificial Intelligence: AI)への知的好奇心を持つ塾生が全塾で増え始めていて、その塾生達に学習の機会を提供し、学部や研究科の隔たりを超えて互いに教え合い学び合うコミュニティを形成するために AIC を立ち上げました。立ち上げ当初は機械学習を中心とした講習会やコンテストが注目されていましたが、昨今では生成 AI(Generative AI)の利活用が脚光を浴びるようになるなど、トレンドの変遷はあるものの、総じて AI への注目度、期待感が高まる一方であると感じます。

2024 年春、日米間で AI 分野のパートナーシップを推進することが日米合意として発表され、それを受けて秋には慶應 AI センター(KAI)が設立されました。KAI は主に AI の研究に取り組むセンター、AIC は主に AI の教育に取り組むセンター、と表現するのが簡潔でしょうか。しかし元来、教育と研究は切り離せるものではなく、ある程度はオーバーラップした取り組みを行っていくことになるでしょう。

今回の KAI 設立に伴い、慶應義塾内での AI 研究・教育に関する取り組みの最新情報を参加者の皆さんにご覧いただくため、今年度2度目となるカンファレンスとしてウィンターエディションを開催することになりました。まず教員からは、KAI センターについての紹介があります。続いて、招待講演者として人工知能研究の第一人者である富田勝 慶應義塾大学名誉教授・鶴岡サイエンスパーク代表理事をお招きいたしました。後半には、AIC の活動を紹介したのち、塾生からの発表があります。慶應義塾では現在、JST の助成を得た博士後期課程における博士人材育成プロジェクトを2つ実施しています。分野を限定されていない Keio-SPRING と、次世代 AI 分野に限定されている Keio-BOOST です。これらのプロジェクトに採択された塾生に呼びかけ、最近の取り組みを発表してもらいます。

AI や高度なプログラミングという興味の対象を共有する塾生が、学部・研究科や学年の隔たりを超えて集結する機会はとても貴重です。カンファレンスが終わってからも、連絡を取り合えるような仲間をぜひ見つけてください。カンファレンスに参加するすべての方が、有意義な時間を共有し、学びあえることを楽しみにしております。

AI・高度プログラミングコンソーシアム代表
AIC カンファレンス 2024 Winter Edition 実行委員長
大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
矢向高弘